



【効能・効果】

体力中等度以下で、背中に冷感があり痛みがあるものの次の諸症：
神経痛、関節痛、筋肉痛

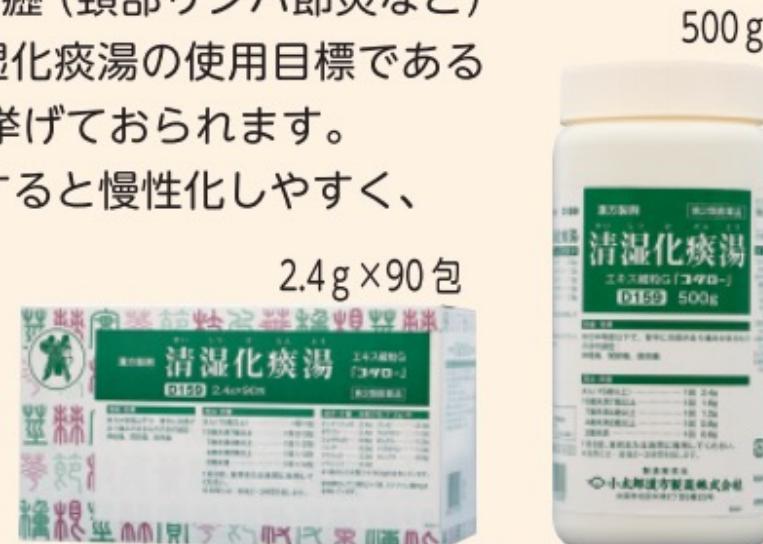
清湿化痰湯

本方は、痰湿（痰飲）が経絡の流れを阻むことで生じる痛みに用いる処方です。胸や背部などの体幹部の痛みにも、手足の痛みにも用いられます。古典的には「背中の冷え」が特徴的な所見とされます。痰湿が原因のため、しつこい痛みとなることが多いようです。

◆原典の『寿世保元』痰飲門には、「偏身（全身）四肢骨節、走注（行痹（風痹）：遊走性の痛み）にて疼痛し、胸背に牽引し、また寒熱（悪寒発熱や往来寒熱）を作し（起し）、喘咳（喘して咳をする症状）し煩悶（煩わしく精神的に苦しい症状）し、或は腫塊（肢体に腫塊ができ、痛みは固定性）を作し痛みにて転側（寝返り）し難く、或は四肢麻痺不仁（知覚麻痺・異常）し、或は背心（背の中央）の一点氷冷するが如く、脈沈滑なるを治す。乃ちこれ湿痰経絡関節に流注し、不利する故なり」と痰湿が経絡を阻むことで表れる身体各所の痛みや知覚障害に用いる旨が記載されています。

◆中田敬吾先生は、『勿誤薬室方函口訣』の解釈として、①痰飲、すなわち水毒が原因して手足が痛む場合②胸膈が痛み、背部などが凝り固まる場合③瘰癧（頸部リンパ節炎など）のように頸部のリンパ腺が腫れてくる場合の3点が清湿化痰湯の使用目標であると述べられ、特に頻用される疾患として肋間神経痛を挙げておられます。

◆痰湿は、粘滞・重濁の性質をもつため、各部位に停滞すると慢性化しやすく、時に患部が熱をもつ傾向にあります。こうした慢性化してなかなか治らない疼痛にご活用いただけます。織部和宏先生も慢性で難治化した頑固な腰痛症に対して、八味地黄丸の次の一手として清湿化痰湯を挙げておられます。



【処方構成と効能】11味

清湿化痰湯は、君薬(主薬)である天南星、半夏、さらに蒼朮、陳皮、茯苓による燥湿化痰作用が基礎となっている。これに体表深部(経絡)の痰湿を除く白芥子や体表部の痰湿を発散させる羌活、白芷、諸薬を調和する甘草、痰熱・湿熱を除く黄芩、消痰作用を強化する生姜を配合した構成で、燥湿化痰、祛風通絡作用があり、体表・経絡部の痰湿を取り除くものである。

燥湿化痰の二陳湯に去痰、止痛の効果が増強された処方とみることもできる。



ココがこだわり!!

- ・テンナンショウ、ハクガイシ、ソウジュツを含む原典を採用した。
- ・乳糖不使用のため、乳糖不耐症の方にも使用できる。



生薬 処方	去痰	利水		驅瘀血		補血		補氣		補腎		解表				清熱	温補	配合生薬数	類方鑑別			
	テナンショウ	ハクガイシ	ハンゲ	ソウジュツ	チンピ	ブクリョウ	カンゾウ	ショウキョウ	オウゴン	トウジン	トチュウ	ソウキセイ	ビヤクシ	キヨウカツ	イレイセン	ボウフウ	サイシン	マオウ	トウドッカツ	ジンギョウ	オウゴン	ブシ
セイシツケタントウ 清湿化痰湯	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	痰湿が原因となり、身体の各所が痛むもの。背中の冷えが典型的。胸や背部の痛みの他、手足や肩、腰の痛みにも用いる。
ソケイカッケツトウ 疎經活血湯			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	寒湿による痛みに用いるが、刺すような鋭い固定痛、血行不良、夜間悪化傾向など、瘀血の症状がある場合に適している。
ドッカツキセイガン 独活寄生丸	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	寒湿による頑固な痛みに用いるが、氣血を補う働きがあり、腎虚がベースにある場合に適する。主に下半身の痛みに用いる。
ケイシシャクヤクチモトウ 桂枝芍藥知母湯		白					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	寒湿による痛みに用いるが、局所の熱感が特徴。虚弱で鶴膝風（関節が腫れ、周囲の筋肉がやせ衰える）がある場合に適する。
ゴシャジンキガン 牛車腎氣丸	○		○	○	○	○	○	○	○	山	山	薬	茱萸		○		○	○	○	○	10	水滯は軽度。補腎作用が強く高齢者など腎虚が顕著な場合に適する一方、祛風作用が弱く、痛みへの直接的効果は弱い。



独活寄生丸

【効能・効果】

疲れやすく、下肢が冷えやすいものの次の諸症：
腰痛、関節痛、下肢のしびれ・痛み

からだが虚弱で疲れやすい方の痺証（ひしょう）に用いる。痺証とは、冷えや湿気が体内に入るこ
とで腰や手足などの運動器に起こる痛み・しびれをいう。対象者は慢性化した患者や高齢者に多い。

- ◆一般には、高齢者や虚弱者の腰痛にはファーストチョイスとされている。寒湿痺（かんしつび）：
寒けや湿気で起きる関節、筋肉、骨などの異常）を呈する疼痛全般に広く用いる。
また、激しいスポーツで腰痛を起こす一時的な虚証にも用いられる。
- ◆気血（エネルギーや栄養）が不足して、筋骨（肝腎）の養分が足りなくなつた結果、虚に乗じて邪（寒
けや湿気）が入り込む。本方の治方は扶正祛邪（ふせいきょじや：抵抗力を高めて病気の原因
を追い払う）である。
- ◆肝は筋を栄養し、腎は骨を栄養するため、肝と腎が衰えれば膝と腰に異常が出やすい。
筋と骨のトラブルにより、関節の変形、こわばり、屈伸困難などの症状が
発生する。このようなケースによく使われる。
- ◆曲げられるが伸ばせないのは筋（肝）に病があり、
伸ばせるが曲げられないのは骨（腎）に病がある。
- ◆特に高齢者は、骨を栄養する腎が衰えやすい。
腎が衰えている高齢者や虚弱者には、体の痛み
以外に耳鳴り、健忘、めまいなど（腎虚の症状）
を訴えるケースもある。
- ◆関節リウマチ、リウマチ熱、坐骨神経痛、椎間
板ヘルニア、骨粗鬆症などの骨や関節、筋肉の
疾患にも応用されている。

キーワード：腎虚、虚証、寒がり





【処方構成と効能】
处方中の唐独活・桑寄生を中心とした構成で、この組み合わせには、祛風湿、強筋骨の効果がある。
それをサポートする形で他の生薬が加わる。藥性のほとんどは温性である。牛膝・杜仲・桑寄生は肝腎を補い、骨を盛んにして筋を強くする。補氣薬・補血薬もバランスよく配され、痛みの原因に働きかける。



生薬	解表								利水			清熱	補氣					補血			理気			活血			温補	その他	配合生薬数										
	ケイヒ	マオウ	サイシン	ボウフウ	ショウキョウ	カンキヨウ	ワキヨウカツ	ビヤクシ	トウドクカツ	ジンギョウ	イレイセン	ソウキセイ	ブクリョウ	ボウイ	タクシャ	ソウジユツ	リュウタ	トチユウ	カンゾウ	オウギ	ニンジン	サンヤク	ビヤクジユツ	タイソウ	トウキ	シャクヤク	ジオウ	チンピ	ハンゲ	コウボク	キコク	キキョウ	ゴシツ	トウニン	ボタンピ	センキユウ	サンシユユ		
処方	ケイヒ	マオウ	サイシン	ボウフウ	ショウキョウ	カンキヨウ	ワキヨウカツ	ビヤクシ	トウドクカツ	ジンギョウ	イレイセン	ソウキセイ	ブクリョウ	ボウイ	タクシャ	ソウジユツ	リュウタ	トチユウ	カンゾウ	オウギ	ニンジン	サンヤク	ビヤクジユツ	タイソウ	トウキ	シャクヤク	ジオウ	チンピ	ハンゲ	コウボク	キコク	キキョウ	ゴシツ	トウニン	ボタンピ	センキユウ	サンシユユ	ブシ	サンシユユ
ドッカツキセイガン 独活寄生丸	○	○	○	○					○	○	○	○					○	○	○	党				○	○	○			○					16					
ソケイカッケツトウ 疎經活血湯					○	○	○	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17					
ハチミジオウガン 八味地黄丸	○								○	○							○			○			○											8					
ゴシャクサン 五積散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18								
ジュウゼンタイホトウ 十全大補湯	○								○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10						

高齢者や虚弱者で腰背部痛および下肢痛を訴えるもの（急性・慢性）。

体力があり元気なタイプで、特に瘀血を原因とした刺すような痛みがみられるもの。

高齢者や虚弱者で、下半身が冷えて腰痛および下肢痛を訴えるもの（主に慢性）。

上半身に熱感があり、下半身が冷えるタイプ。体内の循環が悪く、腰・股・下腹が痛むもの。

全身の衰弱が甚だしく、貧血し、皮膚は乾燥して熱症状のないもの。

疎経活血湯



【効能・効果】

腰痛、関節痛、神経痛、筋肉痛

疎経活血湯は処方名にもあるように、経を通じ、血を活かすという処方。血行を良くして痛みや痺れなどを改善する痺証のファーストチョイスである。風邪（ふうじゃ）や湿邪、または寒邪によって経絡が塞がり痛む場合、瘀血や血虚で痛む場合に用いられる。

- ◆この処方は四物湯に桃仁・牛膝を加え、活血補血を強化したもの。さらに去風湿薬と利水薬が配されている特徴をもつ。
- ◆“痛み”に用い、その範囲は腰痛、関節痛、神経痛、筋肉痛と多岐にわたる。とくに腰より下に発した痛みを目標に用いられる。
- ◆風痺（ふうひ：風邪が原因の痛み）は遊走性の痛み。湿痺（しつび：湿邪が原因の痛み）は重だるい固定痛。寒痺（かんび：寒邪が原因の痛み）は冷えると悪化し、痛みが強いという特徴がある。疎経活血湯は風に加えて寒湿の病邪をも除去して、血行を促進し、血液の栄養を補うことから、言わば痺証のオールマイティ薬。
- ◆薬味が多いので切れ味がマイルドなように思われがちだが、実際に使ってみると、痛みに関しては即効性もあり本治（根治療法）はおろか、標治（対症療法）にも充分かなっている。

【処方構成と効能】
17味

慢性の痛みを改善する瘀血・血虚の薬味と、急性の痛みを和らげる去風寒湿薬をバランスよく配合している。

去風寒湿邪	レイセン ワキョウカツ ボウフウ ビャクシ ボワイ	胃腸機能調整	チンピ ショウキョウ カンゾウ
-------	---------------------------------------	--------	-----------------------

活血化瘀	トウニン ゴシツ	消炎利水	リュウタン
利水	ソウジュツ ブクリョウ	補血行血	トウキ シャフヤク センキュウ ジオウ

羌活は和羌活、朮は蒼朮、浜防風で代用せず防風を使うことで、痛みに対する効き目を追求しました。



生薬 処方	解表					利水		清熱		驅瘀血			理氣		補氣		散寒	その他	配合生薬数				
	マオウ	ケイヒ	ワキョウカツ	ボウフウ	ビヤクシ	ショウキョウ	レイセン	ボウイ	ソウジュツ	ブクリョウ	リュウタン	トウキ	シャクヤク	センキュウ	ジオウ	トウニン	チンピ	ハンゲ	コウボク	タイソウ	カンゾウ	ブシ	キヨウニン
ソケイカッケツトウ 疎經活血湯			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	
	痛みの漢方のファーストチョイス。刺すように痛く、さわると嫌がる場合。																						
ゴシャクサン 五積散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	
	乾姜 白朮 枳殼・桔梗 さすると痛みが軽くなり、腰やお腹まわりを中心に痛む場合。																						
マキヨウヨクカントウ 麻杏薏甘湯	○																	○	○			4	
	薏苡仁 冷えからくる急性の痛み。																						
ケイシカジユツブトウ 桂枝加朮附湯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	
	慢性的に冷えが進行して、むくみがとれないような痛み。																						
ボウイオウギトウ 防己黃耆湯			○	○												○	○			黄耆		6	
	白朮 関節がむくんで、重だるく痛む時など、下半身を中心とする痛み。																						
ゾクメイトウ 統命湯	○	○	○	○				○	○								○	○		人参		9	
	石膏 慢性的に熱を帯びた萎縮性の痛み。																						





五積散

このタイプの方は、表も裏も寒さのために冷え、また湿気のためにからだが重たく感じる。寒冷刺激や湿気に弱く、冬だけでなく夏の冷房病にも用いる。冷え症の方の腰痛・関節痛によい。

- ◆五積散は気・血・痰・寒・食の五積（5つの病気が鬱積）を散するとの意で名付けられた。江戸の名医・津田玄仙は、腰冷痛、腰股攣急（腰から股にかけてつる）、上熱下冷（足冷えが重要、のぼせはなくてもよい）、小腹痛（下腹部の痛み）の4つを目標として用いた。
 - ◆寒冷や湿気に侵されて、下腹部痛、腰痛、手足の筋肉や関節の痛みなどを訴える場合に用いる。女性では、生理痛、生理不順を伴うことが多い。
 - ◆急性、慢性の胃腸疾患によく用いる。他薬で嘔吐が止まらず、飲食を受け付けない時によい。また、平胃散合芍薬甘草湯の方意が含まれているので、下痢してお腹が痛む時にもよい。
 - ◆一貫堂では、防風通聖散タイプで冷えがあるもの（陰の肥満）に使われていた。体に浮腫が見られ、身体沈重、尿量減少、冷え症などがある。2.4g×90包
 - ◆桂枝湯加麻黄白芷（発汗解表）の方意があり、更に桔梗、枳殼、半夏といった鎮咳去痰薬を含んでおり、軽症の感冒に。胃腸虚弱で麻黄湯や葛根湯で胃を荒らす方に もよい。
- ※かつては催生薬（陣痛促進薬）として使われたこともある。



本方は平胃散（理気燥湿）がベースになっており、処方構成から見ると、平胃散（痰積・食積）のほかに半夏厚朴湯（気積）、麻黃湯（寒積）、当帰芍藥散（血積）、二陳湯（痰積）などの処方（方意）が含まれ、5つの積滞を速やかに取り除くようにつくられている。

カンキョウ (ショウキョウ)	トウキ センキュウ	ハンゲ チンピ
ケイヒ	シャクヤク	コウボク
マオウ	カンゾウ	キコク
ビヤクシ	タイソウ	キキョウ
温経散寒	止痙止痛	利水健脾

生薬	補気		利水		理気				解表				駆瘀血		温	配合生薬数									
	ニンジン	カンゾウ	タイソウ	ビヤクジユツ	ブクリヨウ	ソウジユツ	モクツウ	チング	コウボク	ダイフクヒ	キコク	ハング	キキョウ	カツコウ	ソヨウ	マオウ	ケイヒ	サイシン	ショウキョウ	カンキョウ	ビヤクシ	トウキ	シャクヤク	センキュウ	ゴシュユ
ゴシャクサン 五積散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18
カッコウショウキサン 藿香正氣散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13
リッケンシトウ 六君子湯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
トウキシギヤクカゴジュエシショウキョウトウ 当帰四逆加吳茱萸生姜湯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9

エキス量が多い。（満量処方の8割）
利水の朮は、白朮（裏水）と蒼朮（表水）の両方を配合している。
枳実ではなく、枳殼を使用しマイルド感を出した。

